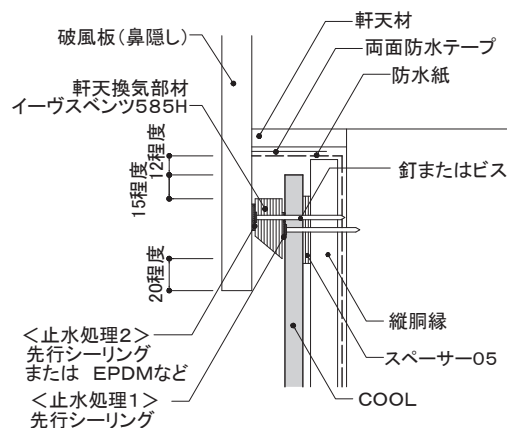
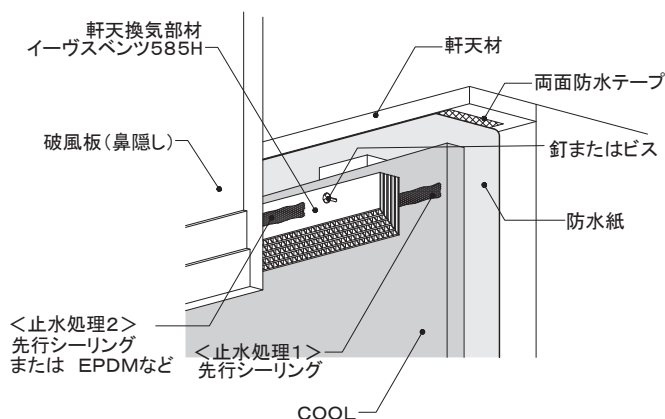


下 地	留付方法	張り方向	木胴縁組
木造軸組下地	金具	横	縦胴縁 @500mm以下

破風・パラペット部(イーヴスベントを使用した場合)

■破風板納まり例

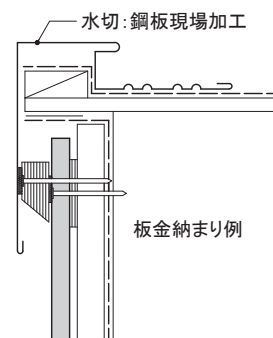
軒の出寸法が少ない破風やパラペット部分などは雨水浸入防止のため通気見切縁のかわりに、図のように、軒天換気部材：イーヴスベント585Hを使用し施工してください。



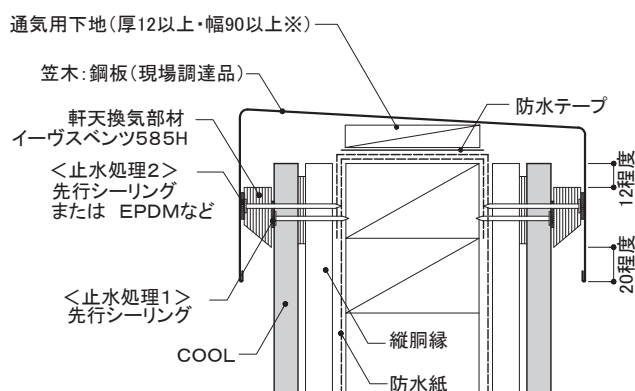
注意事項

- 軒天換気部材は片側が斜めにカットされておりますが、納まり上、部材の上下および表裏に制限はありません。
- 納まりの性質上、外壁工事が先行しますので工程手順に注意してください。
- ＜止水処理1＞は、先行シーリングとしてください。
- ＜止水処理2＞は、先行シーリング又はEPDM等とし、空き寸法に合わせて隙間のないよう施工してください。

■ケラバ納まり例



■パラペット納まり例



16mm品: 横張り金具施工例

注意事項

- 止水処理に関しては、上記同様十分な止水施をしてください。
 - 既製アルミ笠木等は、笠木内部形状が一定でないため十分な止水処理が困難であり、被せ高さ等も不足するため、施工不可となりますのでご注意ください。
 - イーヴスベントは、自治体によって延焼のおそれがある部分での使用が認められていない場合があります。また、地域により開口面積について、通気抵抗係数等により制限される場合があります。各自治体の建築主事、各担当部局、および各金融支援機構窓口にご確認ください。併せて製造メーカー日本住環境(株)様へご相談ください。
- ※長さ2m以下ごとに30mm以上の隙間を設けます。

■その他の施工のポイント

- 部材の側面を完全に止水処理することが重要となります。
- 部材の連結部分は、シーリング処理をしてください。
- 部材及び破風(鼻隠し)等仕上げ材の留め付けは、胴縁または躯体に届くよう留め付けてください。